

ここ猪苗代は一面の銀世界。

昨夜からの雪もやみ、青空が久しぶりに広がった、ここ猪苗代です。

例年よりは、雪が少なく、周辺のスキー場では、ゲレンデに土が見える状態であるということを目にしました。猪苗代町のリステルファンタジアで行われる予定であった2019フリースタイルスキーモーグルふくしま大会も雪が少ないために先日中止が決定されました。

そのような中、磐梯青少年交流の家では、約30センチメートルの雪が積もっています。委託の業者さんをはじめ、職員で通路等の雪かきを毎日しています。多くの職員は、自宅の雪かきや車の雪下ろしをして出勤しますので、この時期はととても大変です。昨日の退勤時には、雪が降り続けていましたので、車の雪下ろしとフロントガラスの凍結を取り除き、車を駐車場から動かすまで30分以上もかかりました。

先程、茨城県の中学校の皆さんが、スキーに出かけました。おそろいのレンタルスキーウェアを身に包み、帽子、ゴーグル、手袋を身に付け、元気よく乗り込んでいきます。昨夜来の雪で、ゲレンデの状態も良くなったことと思います。けがなく安全にスキーを楽しんでいただきたいと思います。

先日は、近くの幼稚園の皆さんが雪遊びに来てくれました。大きなチューブタイヤに乗り、ゆっくりと回転しながら滑る楽しさは、子供たちにとって格別のようです。滑る順番を守ったり、滑るコースに立ち入ったりしないなど、約束を守って楽しくそり遊びを堪能していたようです。

一方、全国的に猛威を振るっている、インフルエンザをはじめ、感染性胃腸炎などの感染症が流行してきており、ここ磐梯でも体調不良者が出てきています。

利用される団体様には、事前に子供たちの健康観察を行うとともに、その家族の健康状態や、インフルにかかった、感染性胃腸炎にかかった家族がいないかなど、リサーチしていただきたいと思います。

せっかく遠路おいでいただいたのに、途中で自宅に帰らざるを得ない、病院で

診てもらわなくてはいけないとなつては、大変です。ここは、標高600mありますので、とても寒いです。体調を整え、温かい服装でおいでいただきたいと思います。

国立磐梯青少年交流の家では、2月17日（日）に、いなわしろフェスティバルを開催します。たくさんのブースを準備しています。また、スノーモービル乗車体験、歩くスキー、そり滑り、雪遊び、かまくらづくりなど、様々なウインター体験活動ができるよう計画をしていますので、多くの方々の参加をお待ち申し上げます。

所長室から窓を見ると、風が強くなり、屋根や地面に積もった雪がその風で巻き上げられ、一面真っ白で10m先も見えなくなりました。30分前は、青空が見えていたのに。

このように、冬の天気は変わりやすく、危険もはらんでいます。利用されるみなさん、どうか、安全運転でいらしてください。

職員一同、皆様のお越しをお待ち申し上げます。